TACOS

TACHIKAWA CONTROL SYSTEM

タコス

シルキーカーテン タコス
プリーツスクリーン ペルレ タコス
クレアス ローマンシェード タコス
ロールスクリーン タコス

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、当社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

タチカワブラインド

目　次

ページ

1．安全上のご注意 ……1～3

2．製品仕様

2．1製品仕様 - シルキーカーテン　タコス ……4～5

2．2製品仕様 - プリーツスクリーン　ペルレ　タコス ……6～7

2．3製品仕様 - クレアスローマンシェード　タコス ……8～11

2．4製品仕様 - ロールスクリーン　タコス ……12～13

2．5製品仕様 - 操作ユニット ……14～21

3．操作方法

・シングルタイプ ……22

・ファミリータイプ ……23～31

4．使用上の注意 ……32

5．困った時のチェック項目 ……33

6．お手入れ方法 ……33

7．保証とアフターサービス ……33

1．安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

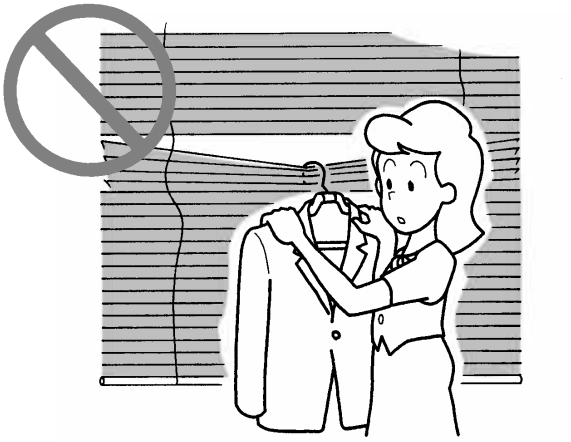
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	してはいけない禁止の行為です。
❗	必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください

⚠ 注意

■製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。



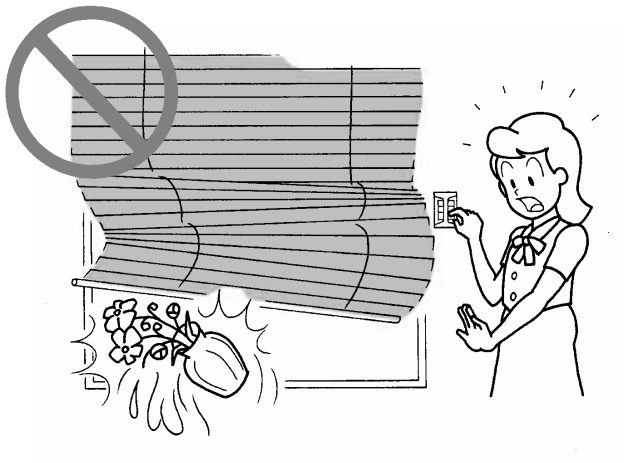
※図はシルキーカーテンタコスの場合。

■窓を開ける時は、できるだけブラインドを上げてください。特に風の強い時は注意してください。製品の破損や、思わぬ事故につながることがあります。

※図はシルキーカーテンタコスの場合。

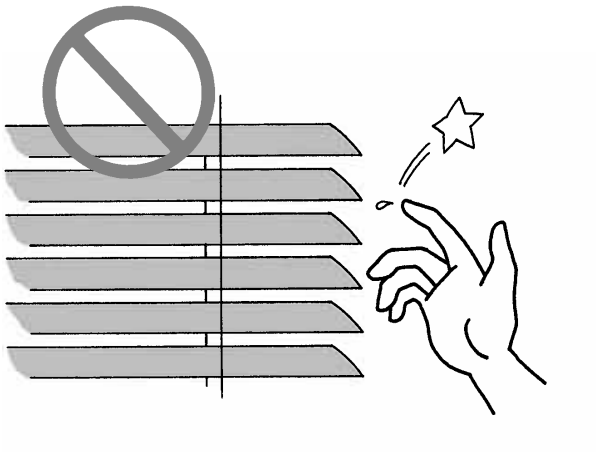
⚠ 警告

■製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損する場合があります。



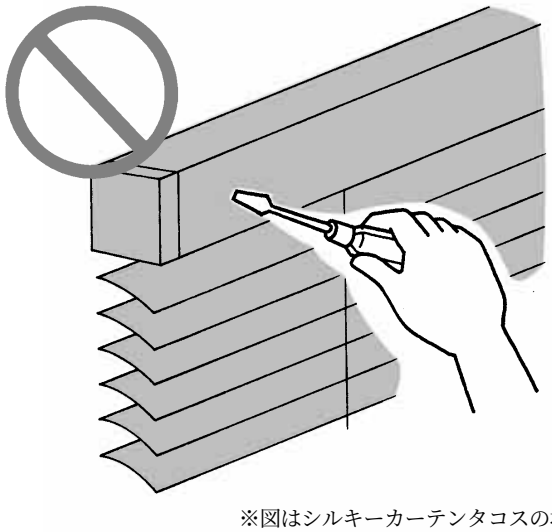
※図はシルキーカーテンタコスの場合。

■スラット（羽根）は不用意に扱うと、手を切る場合がありますのでご注意ください。



※図はシルキーカーテンタコスの場合。

■ヘッドボックスは分解しないでください。火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



※図はシルキーカーテンタコスの場合。

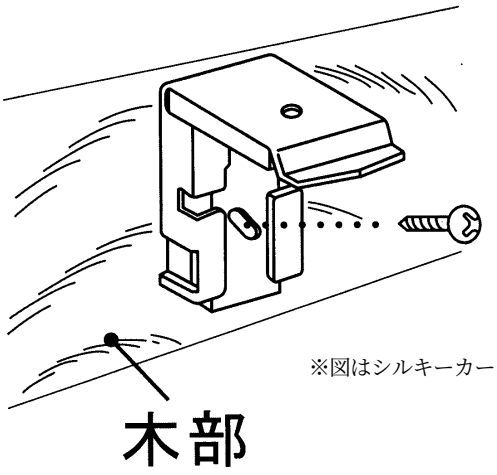
お取付けになる前にお読みください

⚠ 警告

製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

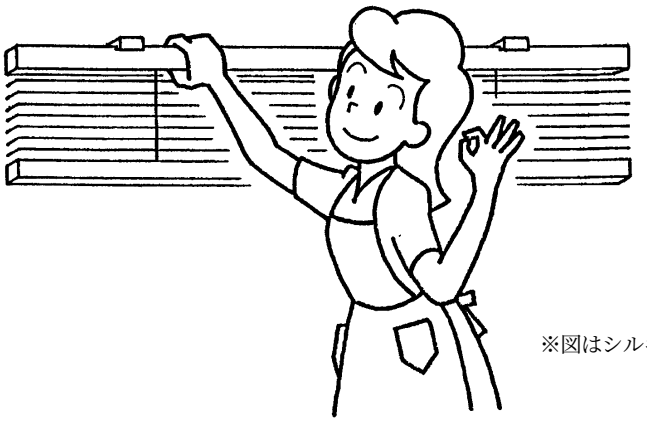
⚠ 注意

付属のブラケット取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。



※図はシルキーカーテンタコスの場合。

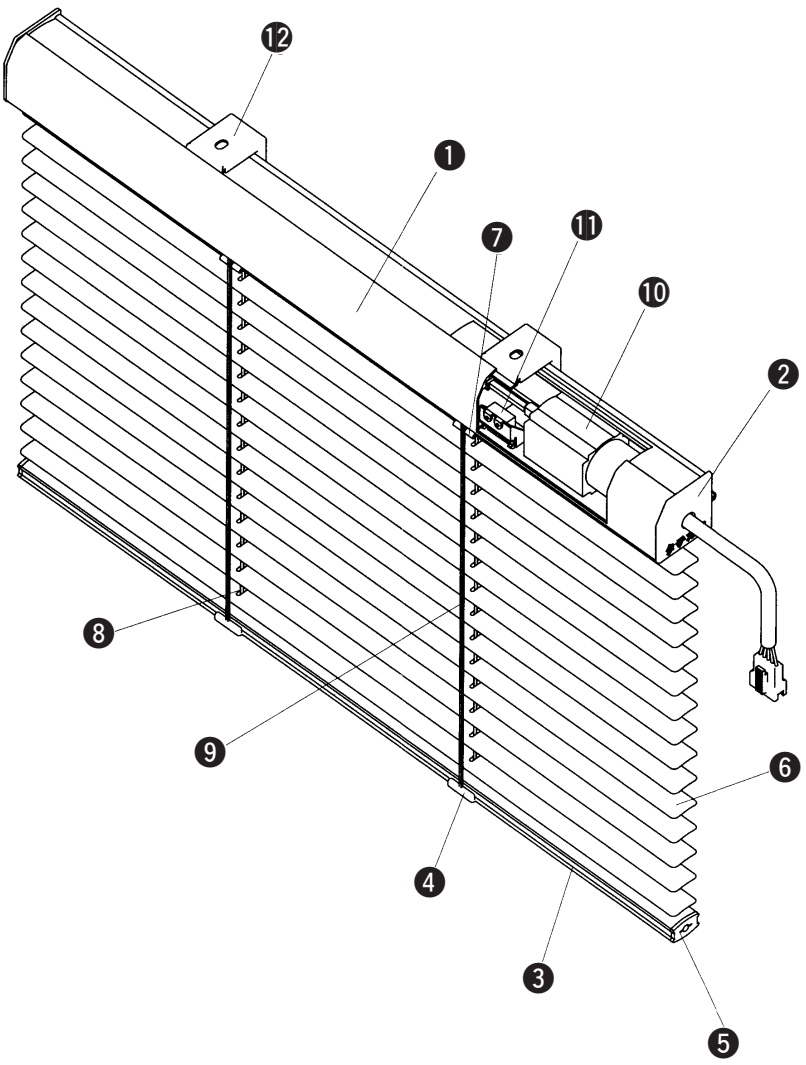
製品本体取付け時には、ブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。



※図はシルキーカーテンタコスの場合。

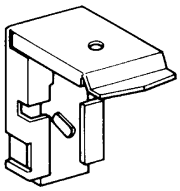
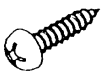
２．１製品仕様　- シルキーカーテン　タコス -

部　品　名　称



❶ヘッドボックス
❷ボックスキャップ
❸ボトムレール
❹テープホルダー
❺ボトムキャップ
❻スラット
❼スラット押え
❽昇降コード
❾ラダーコード
❿モーター
⓫上限リミッター
⓬取付けブラケット

付　属　部　品

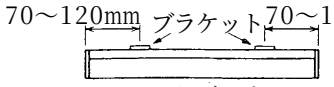
部品名 ＼ 製品幅（mm）	取付けブラケット	ブラケット用ビス
		
620～1300	2	4
1310～1800	3	6
1810～2400	4	8

取　付　け　方　法

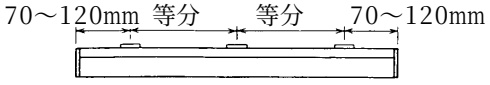
※取付ける前に、下地の確認を行なってください。
木部に取付ける時、厚さが10mm以上であることを確認してください。
製品に付属している取付ビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

1）取付けブラケットの取付け位置を決めてください。

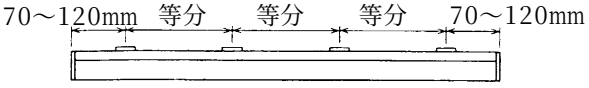
幅：1300mm以下
（ブラケット２ヶ）



幅：1310～1800mm
（ブラケット３ヶ）



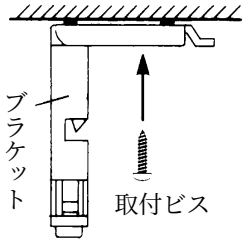
幅：1810～2400mm
（ブラケット４ヶ）



図－１

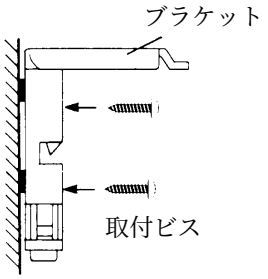
2）取付けブラケットを付属のブラケット用ビスで固定してください。

（天井付けの場合）

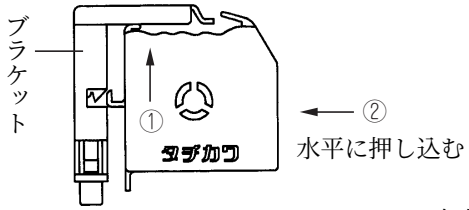


図－２

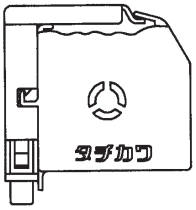
（正面付けの場合）



3）図３の用に、①ヘッドボックスの上部を取付けブラケット天井部に付け、
②矢印の方向へ水平に押し、図４のように取付けてください。
（取付けは、製品をたたみ込んだ状態で行なってください。）



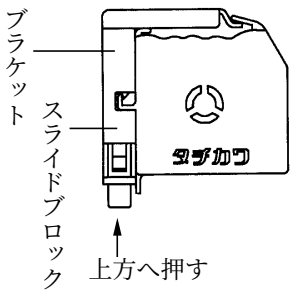
図－３



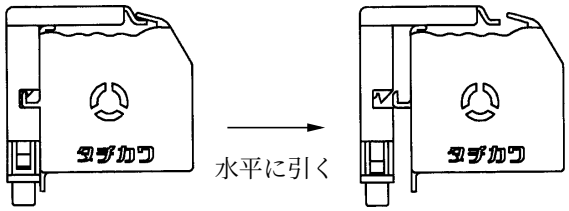
図－４

取　外　し　方　法

ヘッドボックスを取付けブラケットより取外す時は、図５の様にスライドブロックを上方へ押し、図６の状態で矢印の方向へ水平に引いてください。
（取り外しは、製品をたたみ込んだ状態で行なってください。）



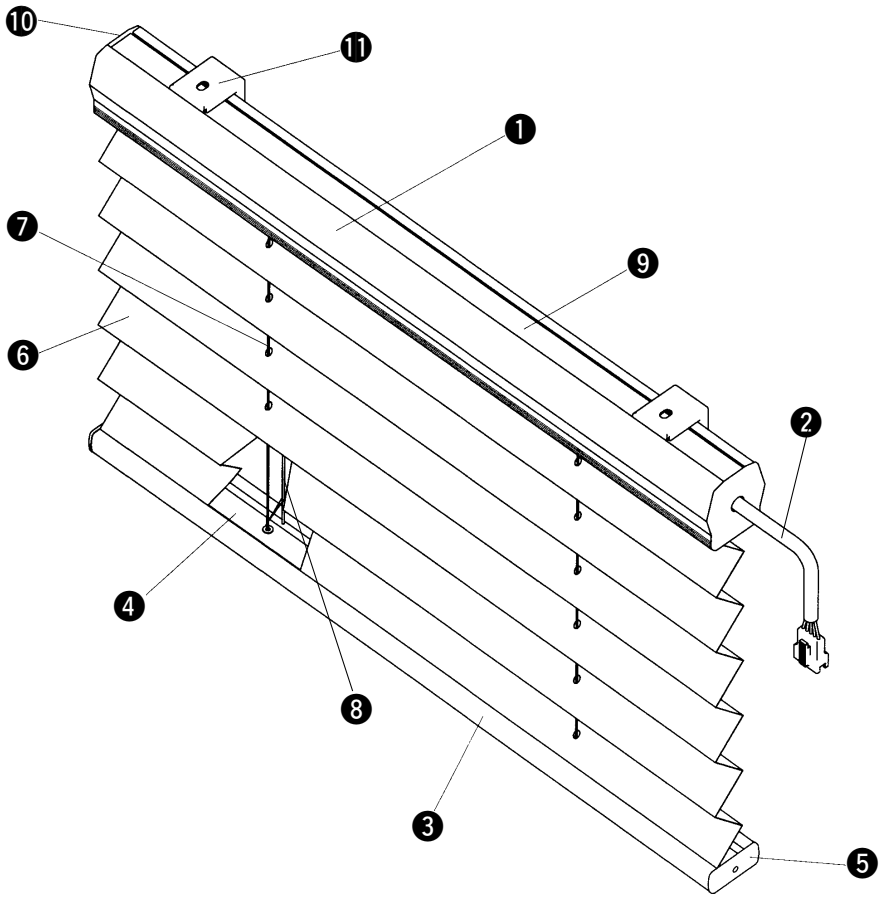
図－５



図－６

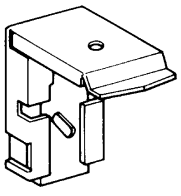
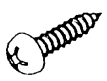
２．２製品仕様　- プリーツスクリーン　ペルレ　タコス -

部　品　名　称



❶ヘッドボックス
❷配線コードＰ
❸ボトムレール
❹生地押え
❺ボトムキャップ
❻生地
❼昇降コード
❽ピッチ保持コード
❾ボックスカバー
❿パイプキャッチャーＲ
⓫取付けブラケット

付　属　部　品

部品名 ＼ 製品幅（mm）	取付けブラケット	ブラケット用ビス
		
500～ 990	2	4
1000～2000	3	6

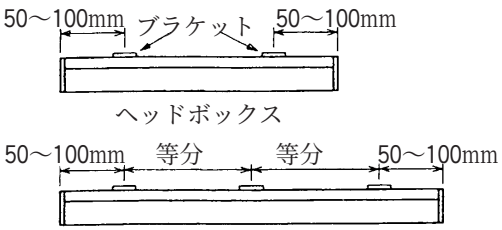
取　付　け　方　法

※取付ける前に、下地の確認を行なってください。
木部に取付ける時、厚さが10mm以上であることを確認してください。
製品に付属している取付ビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

1）取付けブラケットの取付け位置を決めてください。

幅：990mm以下
（ブラケット２ヶ）

幅：1000～2000mm
（ブラケット３ヶ）



図－１

2）取付けブラケットを付属のブラケット用ビスで固定してください。
固定方法は「シルキーカーテン　タコス」と同様にしてください。（P‐5参照）

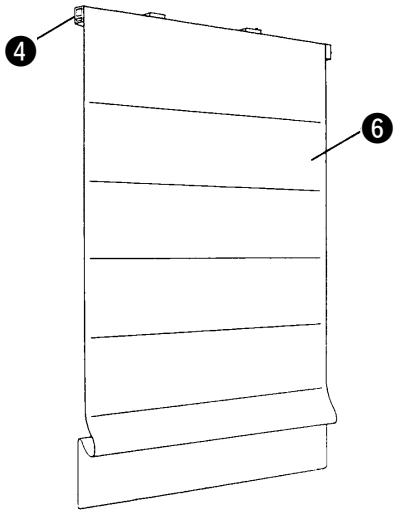
3）ヘッドボックスを取付けブラケットに取付けてください。
取付け方法は「シルキーカーテン　タコス」と同様にしてください。（P‐5参照）
※生地の裏側についているピッチ保持コードが取付けブラケットにはさまれると昇降できなくなりますので、ご注意ください。

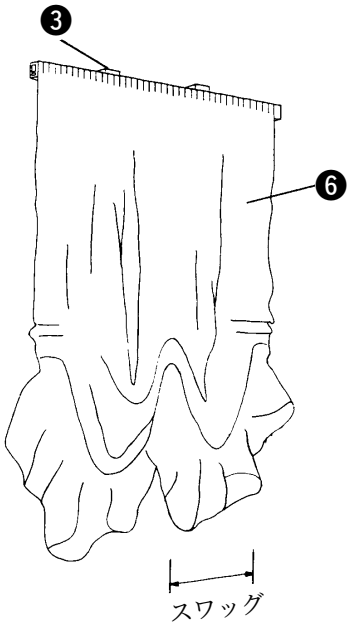
取　外　し　方　法

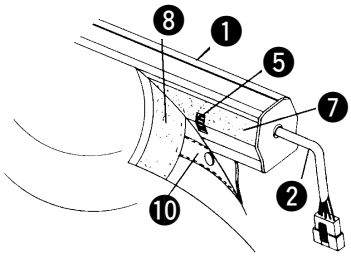
「シルキーカーテン　タコス」と同様にしてください。（P‐5参照）

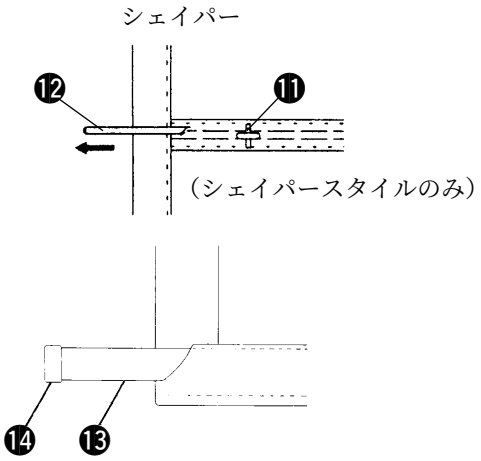
2．3製品仕様　- クレアス　ローマンシェード　タコス -

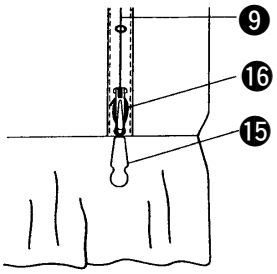
部　品　名　称











❶ヘッドボックス
❷配線コードＰ
❸取付けブラケット
❹パイプキャッチャーＲ
❺上限りミッターＲＭ
❻生地（シェード）
❼面ファスナーＡ
❽面ファスナーＢ
❾昇降コード
❿リングテープ
⓫シェイパーガイド
⓬シェイパー
⓭ボトムウエイト
⓮ボトムキャップ
⓯ウエイト
⓰コードキャッチ

付　属　部　品

部品名 / 製品幅（mm）	取付けブラケット	ブラケット用ビス	ガイド固定具(組)	ガイド固定ビス	取付金具	金具固定ネジ
			※	※	※	※
500～1000	2	4	2	2	2	4
1010～2000	3	6				
2010～2900	4	8				

※印はオーストリアンスタイルの場合にのみ付属しています。

取　付　け　方　法

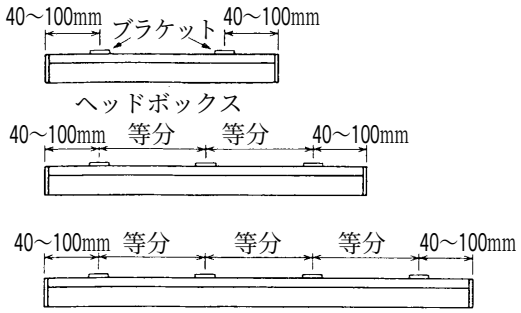
※取付ける前に、下地の確認を行なってください。
木部に取付ける時、厚さが10mm以上であることを確認してください。
製品に付属している取付ビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

1）取付けブラケットの取付け位置を決めてください。

幅：1000mm以下
（ブラケット２ヶ）

幅：1010～2000mm
（ブラケット３ヶ）

幅：2010～3000mm
（ブラケット４ヶ）



図－１

2）取付けブラケットを付属のブラケット用ビスで固定してください。
固定方法は「シルキーカーテン　タコス」と同様にしてください。（P‐5参照）

3）ヘッドボックスを取付けブラケットに取付けてください。
取付け方法は「シルキーカーテンタコス」と同様にしてください。（P‐5参照）

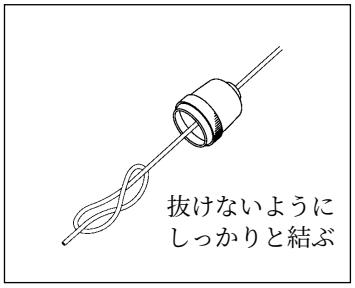
取　外　し　方　法

「シルキーカーテン　タコス」と同様にしてください。（P‐5参照）

ガイド紐の取付け方法

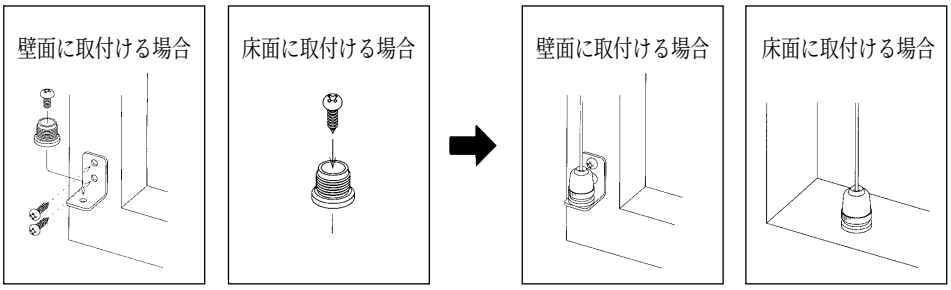
※オーストラリアンスタイルの場合のみ

①両サイドに通してあるガイド紐を適当な長さでカットし、ガイド固定具を通した上で、紐が抜けないように結んでください。



②ガイド固定具の下キャップを取付け面にしっかりと固定してください。

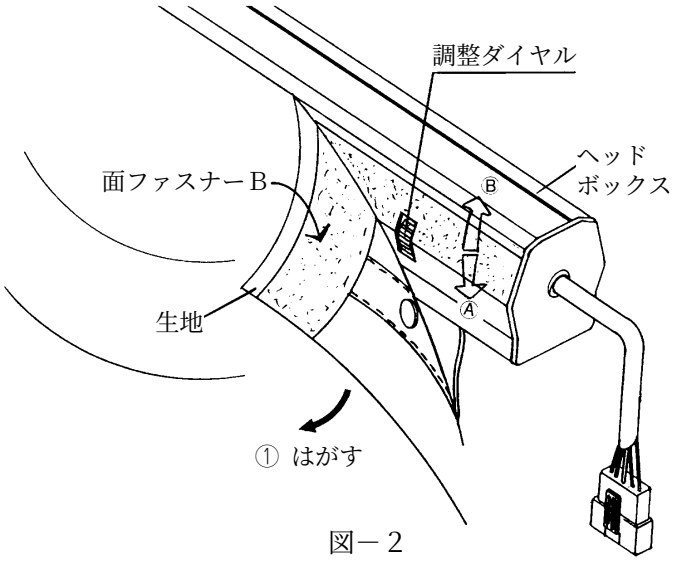
③ガイド固定具の上キャップを下キャップにねじ込んでください。



調　整　方　法

出荷時に、生地の上限位置（生地が最もたたみ上げられた位置）の調整を終えてありますが、上限位置を下方向に変えたい場合、又は上方向に変えたい場合は、下記手順にて調整を行なってください。

①生地をヘッドボックスから図‐２のようにはがしてください。生地は面ファスナーで固定されています。
②上限位置を現時点より下にしたい場合は、調整ダイヤルを図‐２の矢印A方向（下方向）にまわしてください。
③上限位置を現時点より上にしたい場合は、調整ダイヤルを図‐２の矢印B方向（上方向）にまわしてください。
④昇降操作を１～２回行なって、最適な上限位置となるように②又は③の作業をくり返してください。
⑤生地を元通りにヘッドボックスに固定してください。



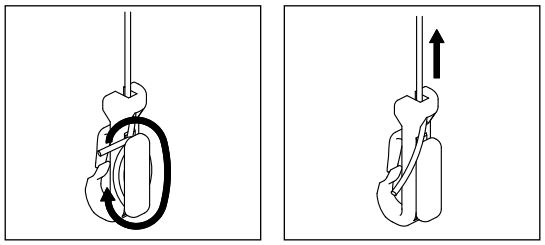
図－２

注）③の調整を行なう場合には、まわしすぎに注意してください。
　　無理に生地をたたみ込む調整をすると故障の原因となります。

生地（シェード）の取外し方法

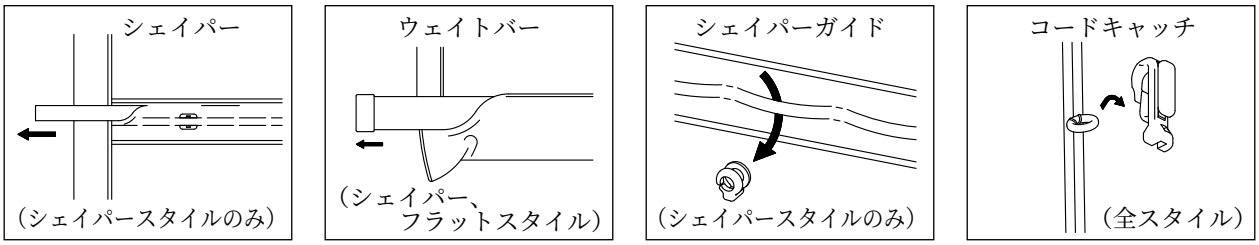
以下の作業は、必ず生地を最下部まで降ろした状態で行なってください。

①シェード裏面下部のコードキャッチに巻きつけてある昇降コードを抜き取ってください。



②シェード上部の面ファスナーをはがし、シェードをフレームから外し取ってください。

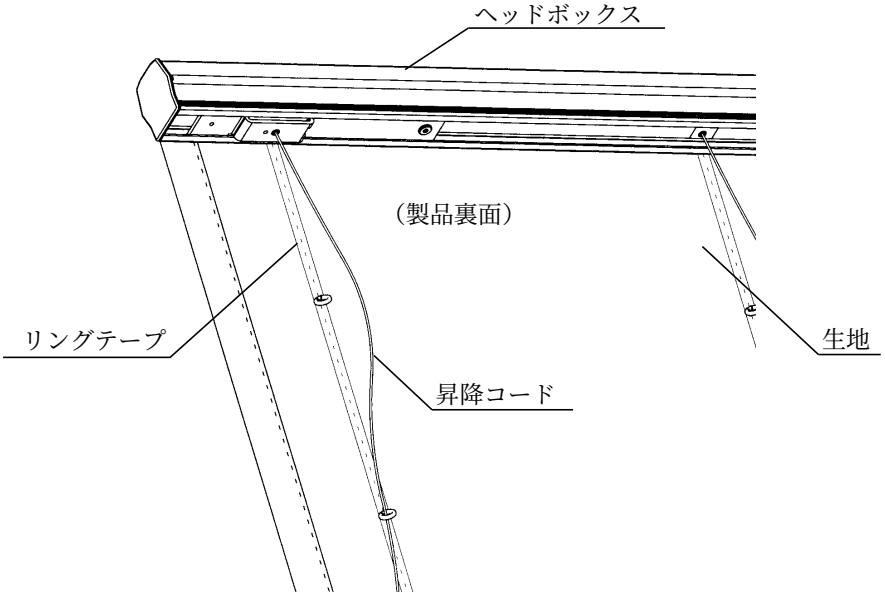
③シェードについている、下部の部品を取外してください。



生地（シェード）の取付け方法

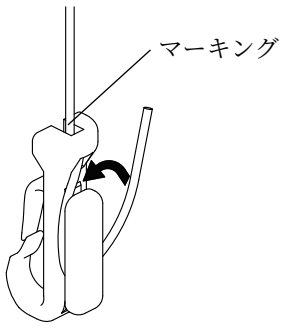
※基本的に取外し方法の逆の手順をたどれば、生地（シェード）は取付けられますが、取外しの際に、生地を最下部まで降ろした状態のまま取付けを行なわないと昇降できなくなりますので注意してください。

①ヘッドボックスに生地を固定してください。
このとき、各リングテープの位置を各昇降コードの位置にあわせてください。



②生地（シェード）を取外したときに確認した通り、昇降コードおよびガイド紐は、上部のリング（または上１つのリング）を通さないでください。

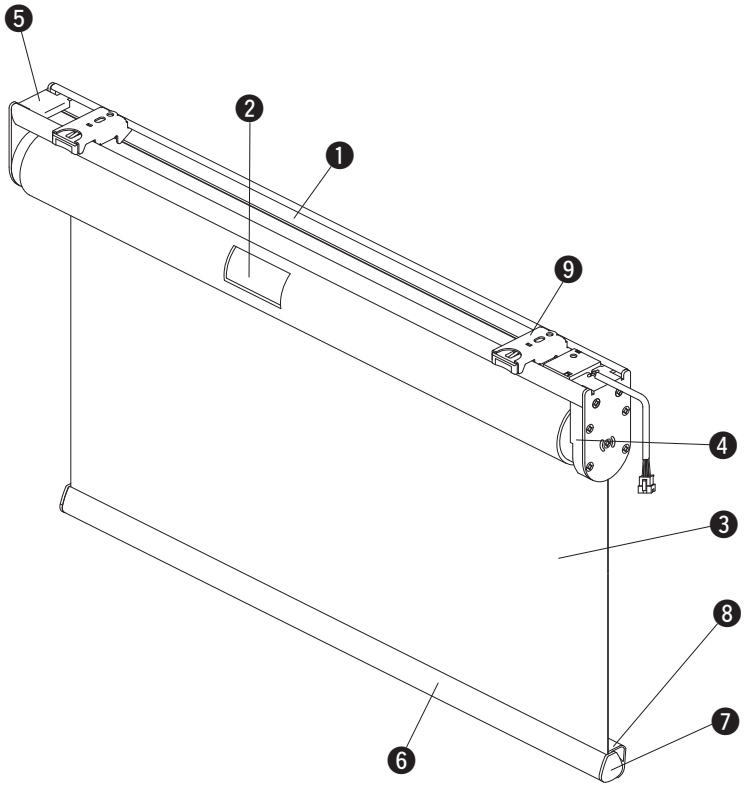
③コードキャッチに昇降コードを取付ける場合は、取外し手順と逆にするとともに、必ずコードキャッチの溝に昇降コードを５回転巻きつけて固定してください。



注）③を確実に行なわないと、昇降コードがコードキャッチから抜けてしまい昇降できません。

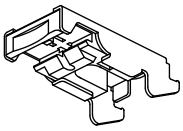
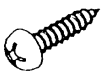
2．４製品仕様　- ロールスクリーン　タコス -

部　品　名　称



❶フレーム
❷巻取パイプ
❸生地（スクリーン）
❹駆動ユニット
❺サイドブラケット
❻ウエイトバー
❼ウエイトバーキャップ
❽リミットキャップ
❾取付けブラケット

付　属　部　品

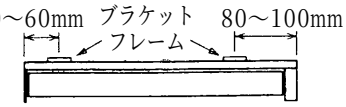
部品名 / 製品幅（mm）	取付けブラケット	ブラケット用ビス
		
500～1390	2	4
1400～2000	3	6

取　付　け　方　法

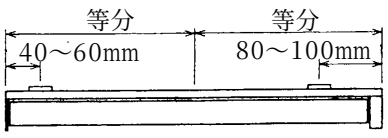
※取付ける前に、下地の確認を行なってください。
木部に取付ける時、厚さが10mm以上であることを確認してください。
製品に付属している取付ビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

1）取付けブラケットの取付け位置を決めてください。

幅：1390mm以下
（ブラケット２ヶ）



幅：1400～2000mm
（ブラケット３ヶ）

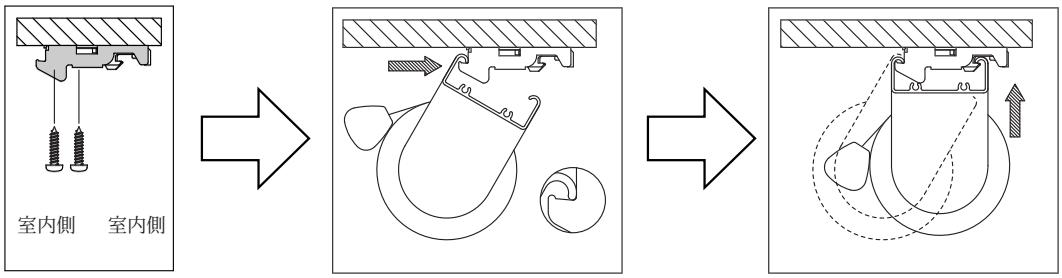


フレームが水平になる様に、ブラケットの取り付け位置を定めます。

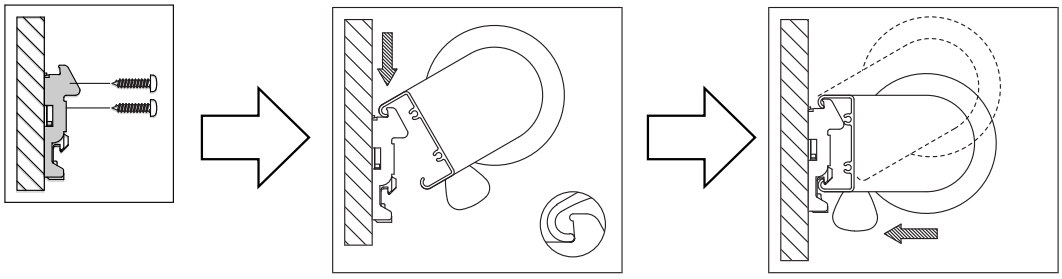
尚、取付けブラケットはフレームについている表示シールを目安に取付けてください。

2）取付けブラケットを付属のブラケット用ビスで固定し、製品を取付けてください。

◎天井付けの場合



◎正面付けの場合



取付けブラケット
を付けてください。

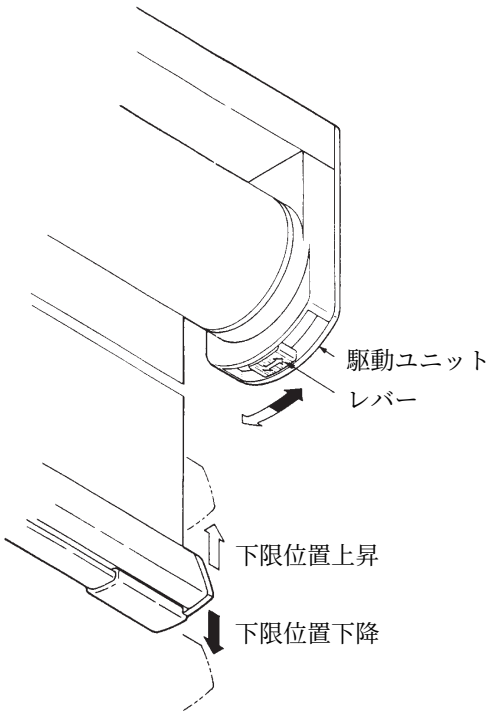
取付けブラケットのツメにフレームをかけてください。

フレームを矢印の方向にもっていき、「カチッ」という音がするまで押し込んでください。

※全ての取付けブラケットに確実に固定されたかどうか確認してください。

調　整　方　法

出荷時に、生地の下限位置（生地が最も下まで降ろされた位置）の調整を終えておりますが、下限位置を変えたい場合は、下記手順にて調整を行なってください。



- 下限位置を上げたい場合：レバーを ⇨ 方向に移動する。（製品高さを短くする）
- 下限位置を下げたい場合：レバーを ➡ 方向に移動する。（製品高さを長くする）
- 調整範囲ならびに目安：レバーがユニットの中心にある状態で、それぞれの方向に約10cmの範囲で微調整できます。なお、レバーは突起によって位置決めされて突起１山当たり約１cmの微調整となります。

注）下限位置でレバーを移動しても位置の変化は確認できませんので、調整時は生地を少し巻き取った状態（１～２巻）でレバーを移動した後に下降させ、下限位置の確認を行なってください。
リミットキャップが、ウエイトバーを正面から見た右端の裏面に位置する状況が正しい位置です。これがずれている場合はウエイトバー端までスライドさせてください。

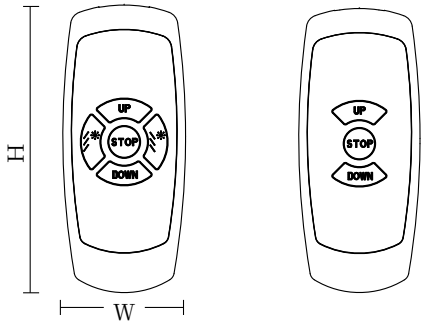
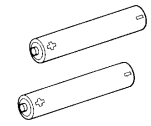
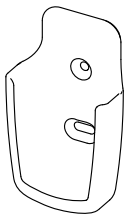
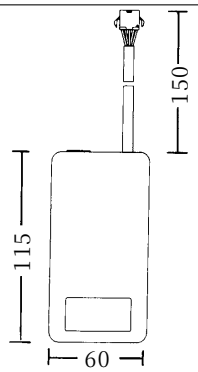
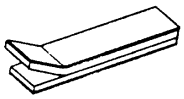
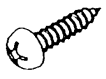
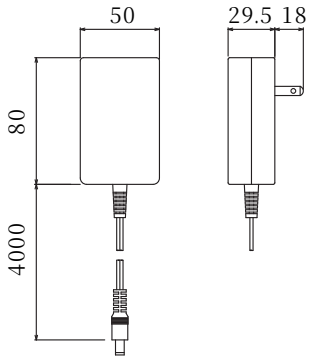
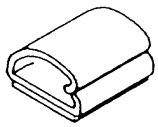
２．５製品仕様　- 操作ユニット -

部　品　名　称

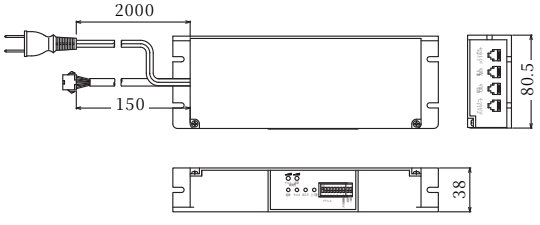
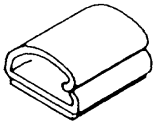
～シングルタイプ～

※ファブリック用…プリーツスクリーン　ペルレ　タコス
クレアスローマンシェード　タコス
ロールスクリーン　タコス

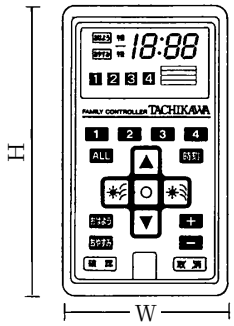
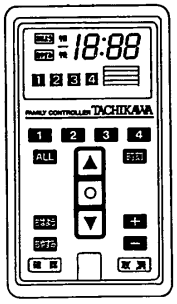
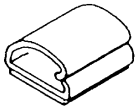
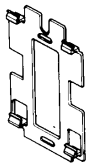
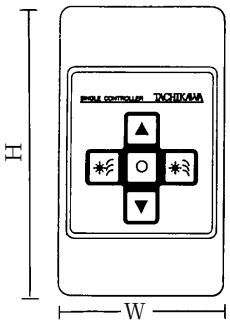
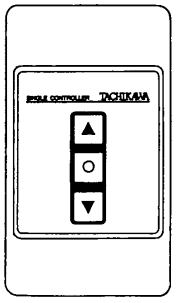
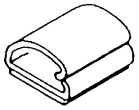
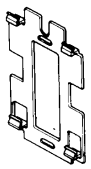
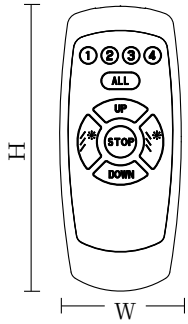
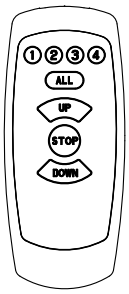
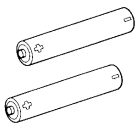
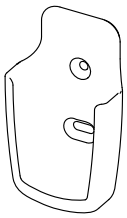
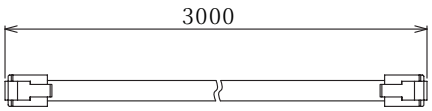
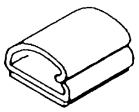
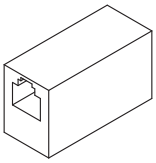
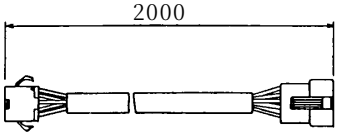
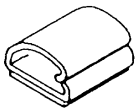
（製品に付属）

ユニット名称	形状	付属部品
シングルタイプ用 リモートコントローラ W： 47 H：109 D： 22	（ブラインド用）　※（ファブリック用） 	 単四乾電池×２本 取付ビス×２本 （木部用）  リモコンホルダー×１個
受　光　部		 マジックテープ  取付ビス
ACアダプター		 ワイヤークランプ×３コ

～ファミリータイプ～（製品に付属）

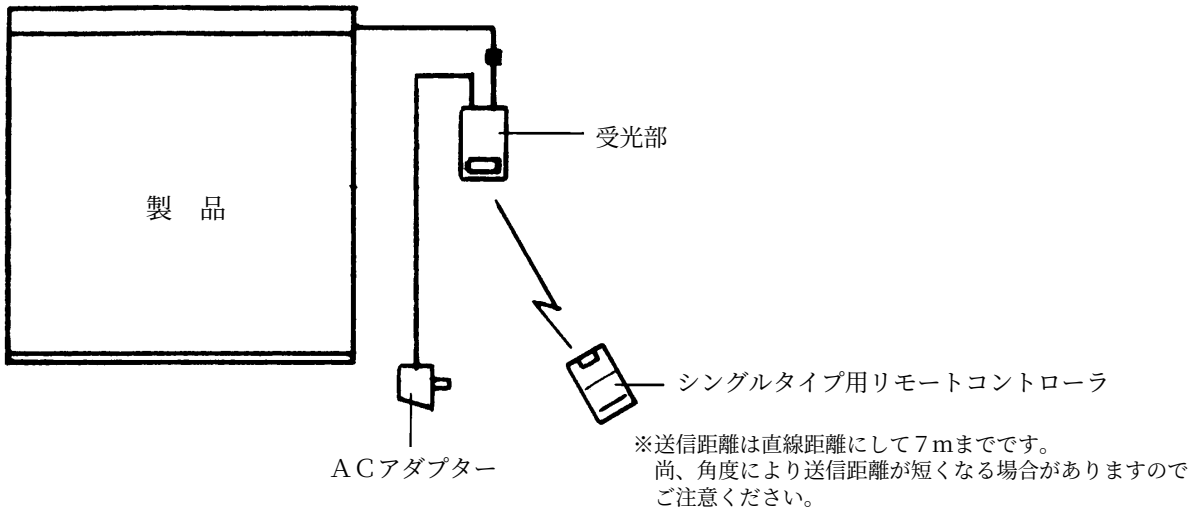
ユニット名称	形状	付属部品
モーターコントローラ		 ワイヤークランプ×３コ 取付ビス

～オプション部品～

ユニット名称	形状	付属部品
ファミリーコントローラ W： 70 H：120 D： 20 コード長：2000	（ブラインド用）  （ファブリック用） 	 ワイヤークランプ×３コ M４ビス×２本 タッピング×２本  取り付け枠×１コ
ファミリー用 シングルコントローラ W： 70 H：120 D： 20 コード長：2000	（ブラインド用）  （ファブリック用） 	 ワイヤークランプ×３コ M４ビス×２本 タッピング×２本  取り付け枠×１コ
ファミリータイプ用 リモートコントローラ W： 47 H：109 D： 22	（ブライインド用）  ※（ファブリック用） 	 単四乾電池×２本 取付ビス×２本 （木部用）  リモコンホルダー×１個
モジュラコード		 ワイヤークランプ×３コ
モジュラ延長プラグ		――――――
本体側延長コード		 ワイヤークランプ×３コ

調　整　方　法

～シングルタイプ～（製品１台を動かす時）



※送信距離は直線距離にして７ｍまでです。
尚、角度により送信距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。

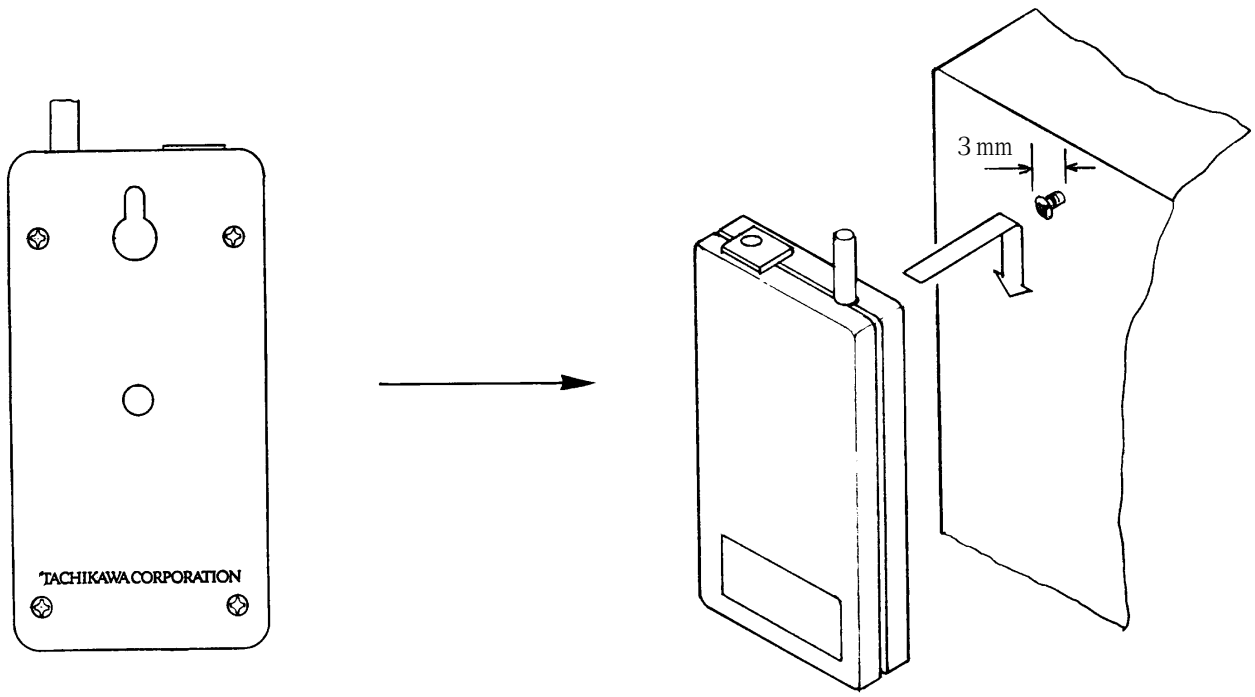
１）受光部の取付け

※取付ける前に、下地の確認を行なってください。
木部に取付けるとき、厚さが10㎜以上であることを確認してください。
製品に付属している取付ビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

受光部の取り付けには、２つの方法があります。

①ビス止め

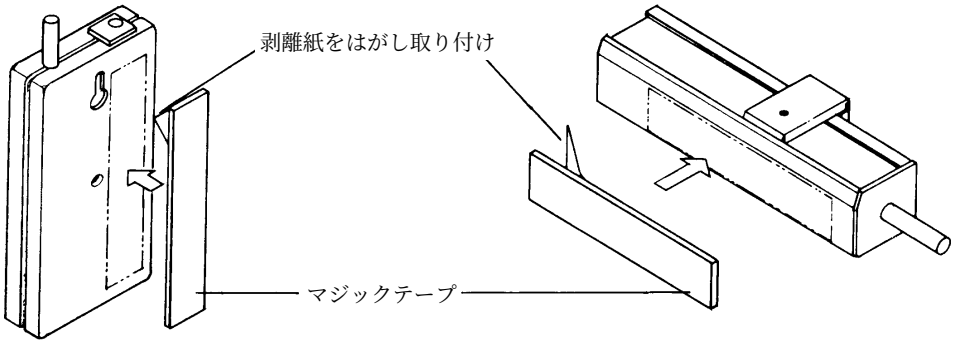
任意の位置にビス止めし、受光部を引掛けるように取付けてください。
（ビスの頭は壁から３㎜程だしてください。）



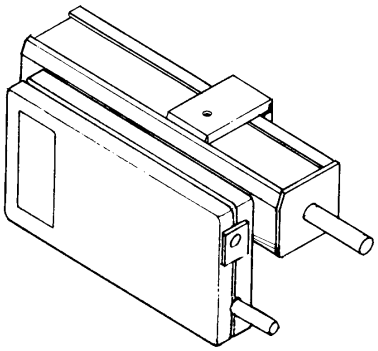
②マジックテープ止め

付属のマジックテープを受光部に貼り、もうひとつをヘッドボックスまたは、壁面に取付けてください。

（マジックテープ裏面に両面テープがついています。）

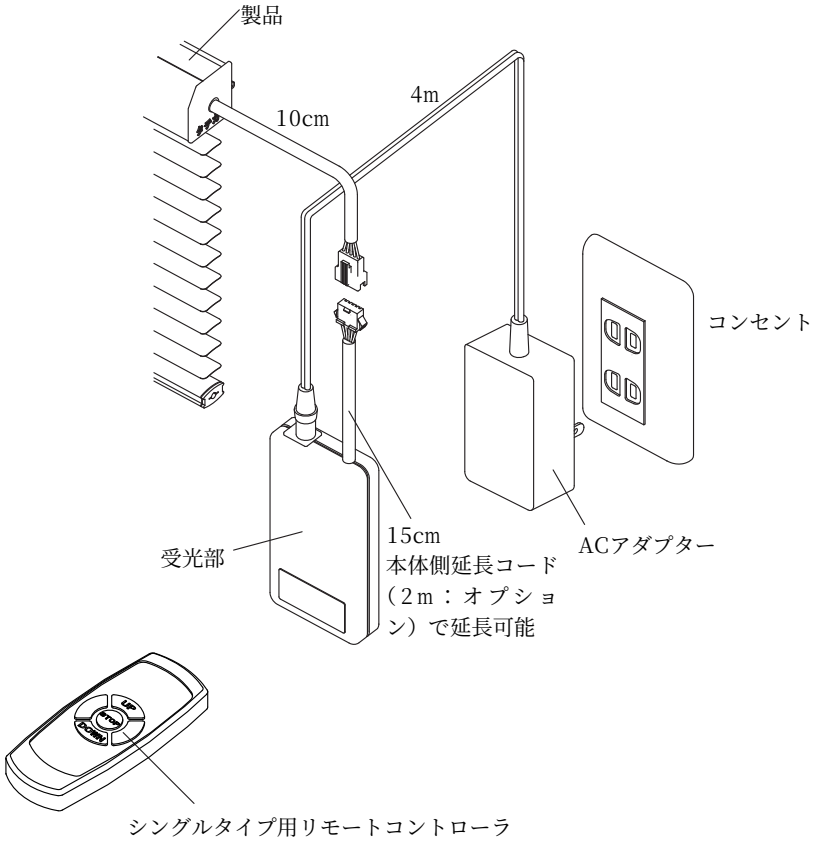


※壁面取り付けの際に壁材により、接着しにくい場合がありますのでご注意ください。

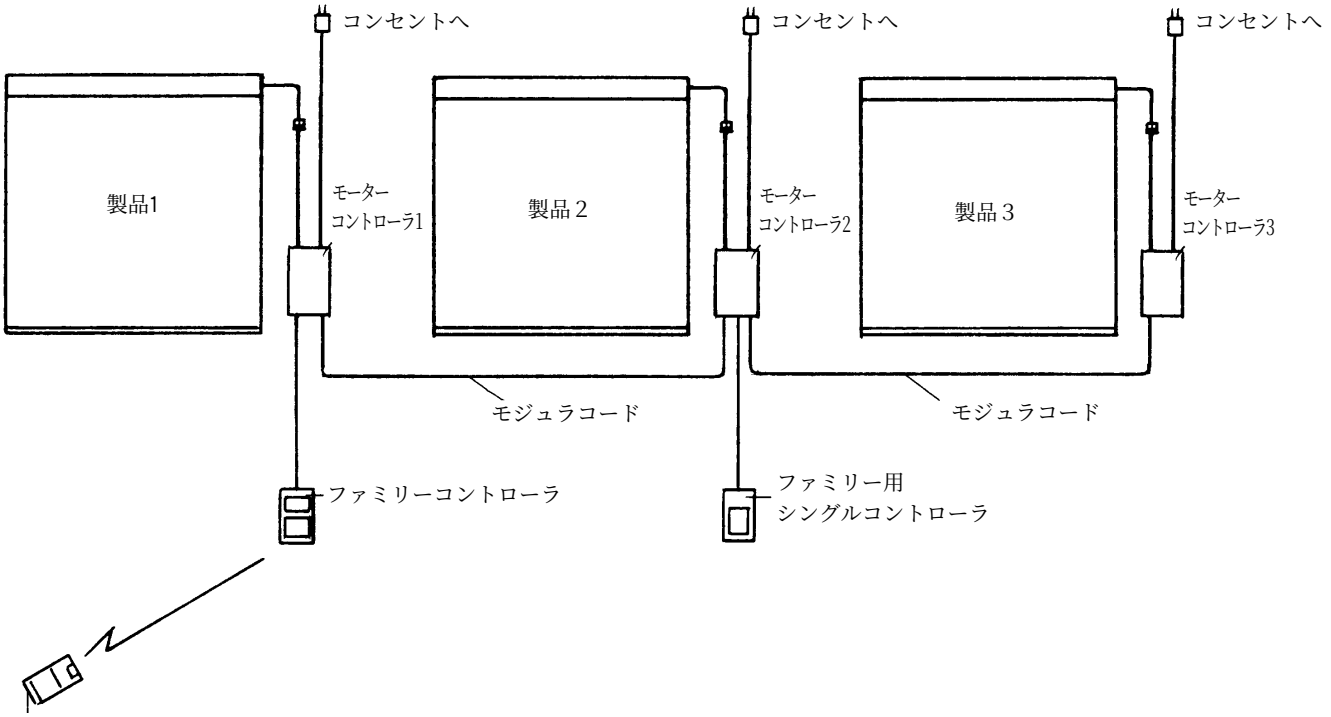


注）受光部は、直射日光のあたる場所や蛍光灯の近くに取付けないでください。

下記の様に接続をしてください。



～ファミリータイプ～（製品複数台を動かす時）



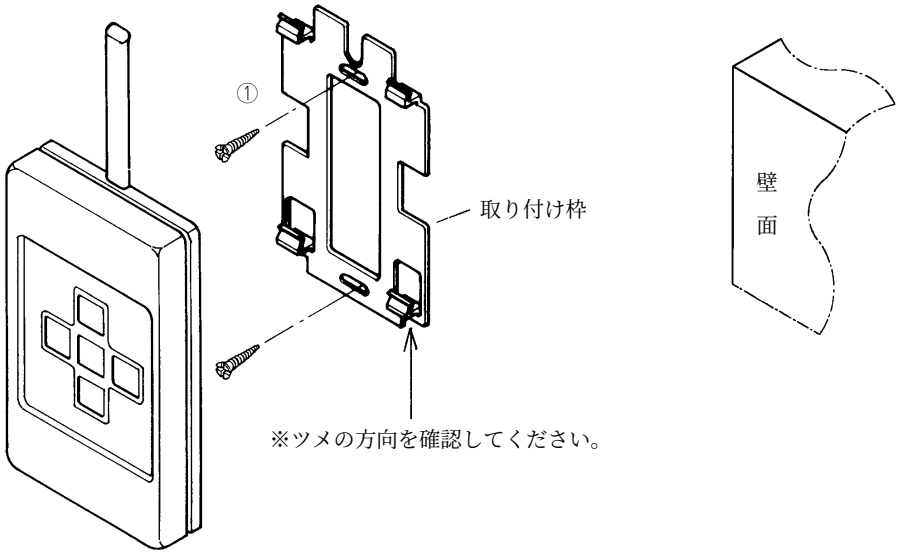
ファミリータイプ用リモートコントローラ

※リモートコントローラの送信距離は直線距離にして７ｍまでです。なお、角度により送信距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。

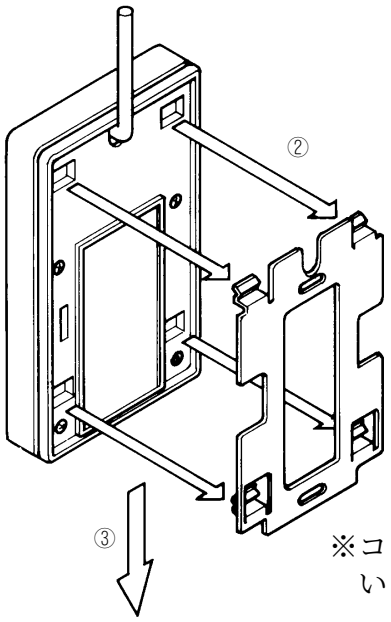
１）コントローラの取付け

※取付ける前に、下地の確認を行なってください。
木部に取付けるとき、厚さが10mm以上であることを確認してください。
製品に付属している取付ビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

シングル及びファミリーコントローラの取り付けは、下図の様に行ってください。
①取付け枠を固定してください。



②コントローラ裏面の凹に取付け枠のツメを差し込んでください。
③ ②の状態で、コントローラを下に引き降ろしてください。



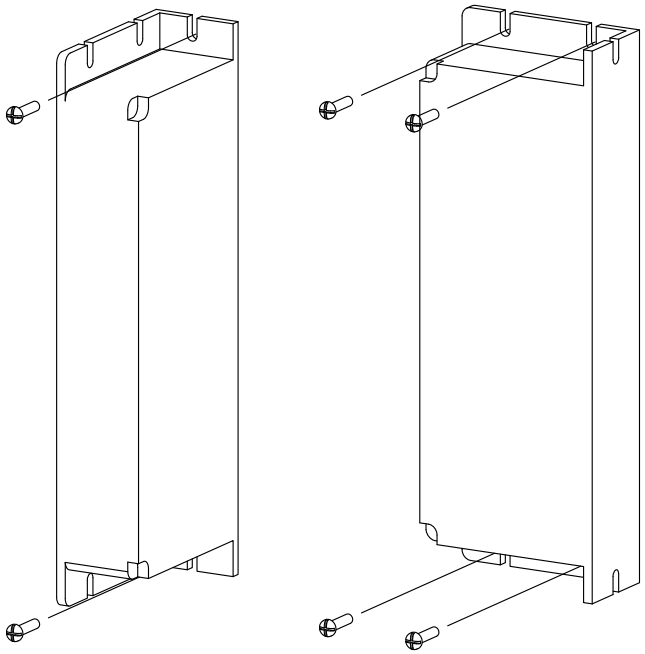
※コントローラと取り付け枠が固定されて
いるか確認してください。

注）上記の方法で取付けを行なわない場合は、コントローラが取付け枠から外れる場合があります。

2）モーターコントローラの取付け

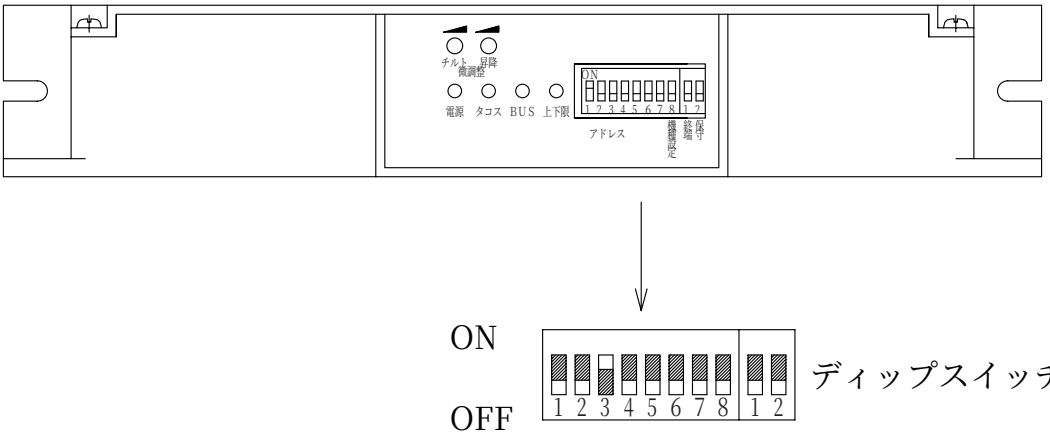
※取付ける前に、下地の確認を行なってください。
木部に取付けるとき、厚さが10㎜以上であることを確認してください。
製品に付属している取付ビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

付属のビスで、モーターコントローラを固定してください。



初　期　設　定

モーターコントローラ側面のディップスイッチで、製品番号（アドレス）および機種設定を行なってください。



※左側に８つ、右側に２つのディップスイッチを設けています。
※初期設定は左側の８つのディップスイッチを使用します。

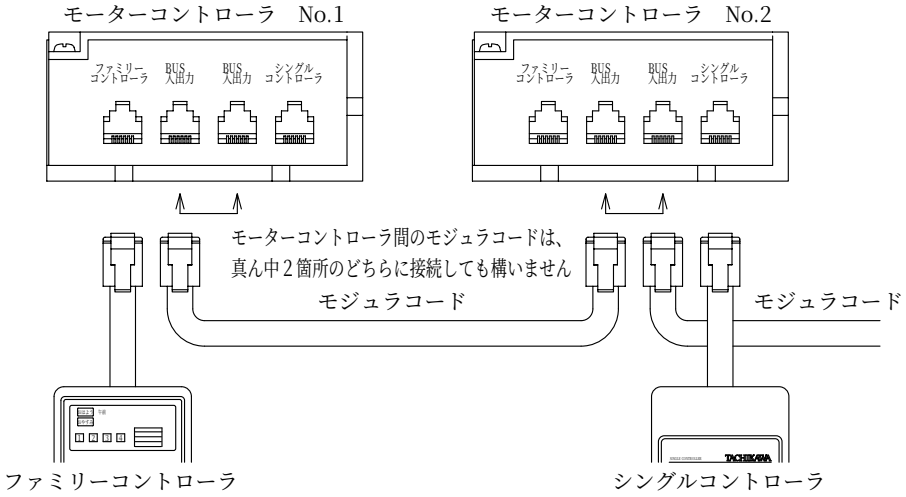
- 「１～４」で“製品番号（アドレス）”の設定を行ないます。
  例えば、No.３に設定する場合は、３のスイッチをONにします。
- 「８」で“機種設定”を行ないます。
  - シルキーカーテン　タコス …… OFF
  - プリーツスクリーン　ペルレ　タコス …… ON
  - クレアス　ローマンシェード　タコス …… ON
  - ロールスクリーン　タコス …… ON
- 「５～７」は　使用しません …… OFF
- 右側の２つのディップスイッチはメンテナンス用です。
  普段は使用いたしません。 …… OFF

※工場出荷時は「１」のみ　ON　で出荷されます。

注）初期設定は必ず電源コードをコンセントに差し込む前に行なってください。
電源投入後に設定すると正常に動作しない場合があります。

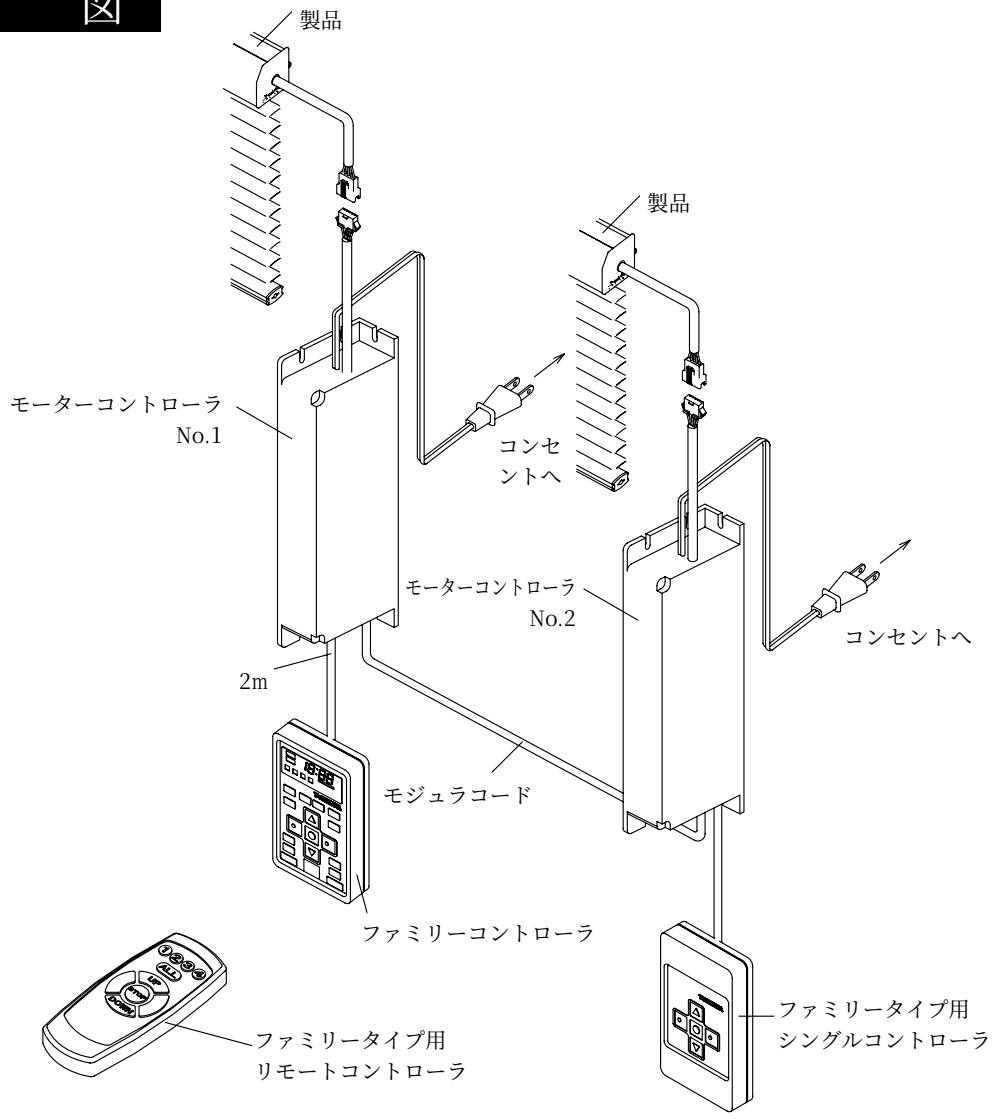
接　　続

各コネクターは、下図のように接続してください。



※モーターコントローラ間を延長（3m以上）させたいときは、別途モジュラコード（3m）とモジュラ延長プラグをご使用ください。

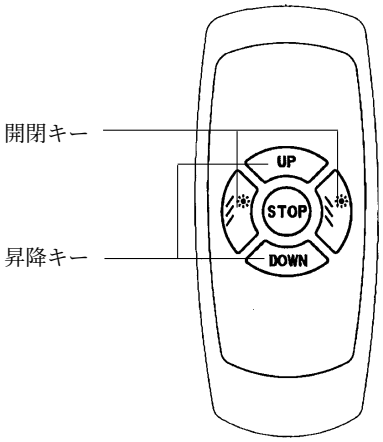
接　続　図

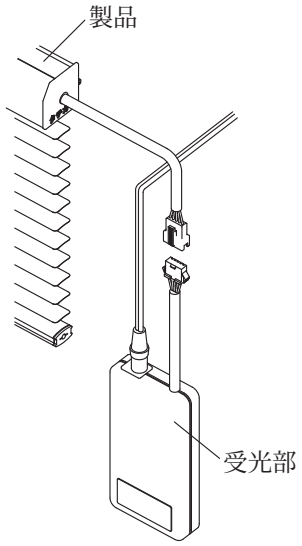


3．操作方法

～シングルタイプ～

シングルタイプ用リモートコントローラ





シングルタイプ用リモートコントローラ

※送信距離は直接距離にして７ｍまでです。
尚、角度により送信距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。

注）ファブリック用は開閉キーがついていません。

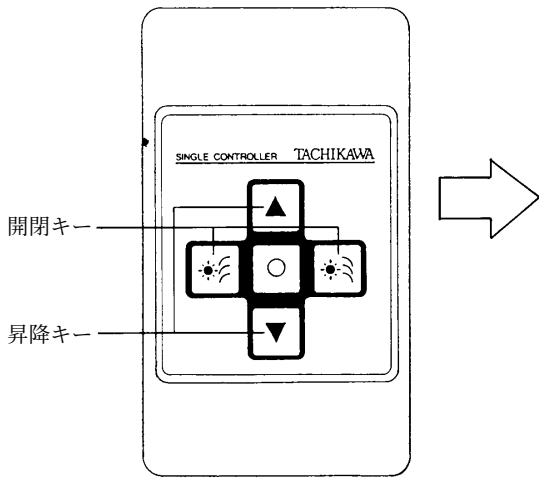
開閉キーは押している間のみ動作

操　作	製品の動き
①たたみ込みたい場合 UP を押す。	UP
②降ろしたい場合。 DOWN を押す。	DOWN
③UP、DOWNの途中で止めたいとき。 STOP を押す。	
④スラットの回転 または を押す。	スラット 室外 室内

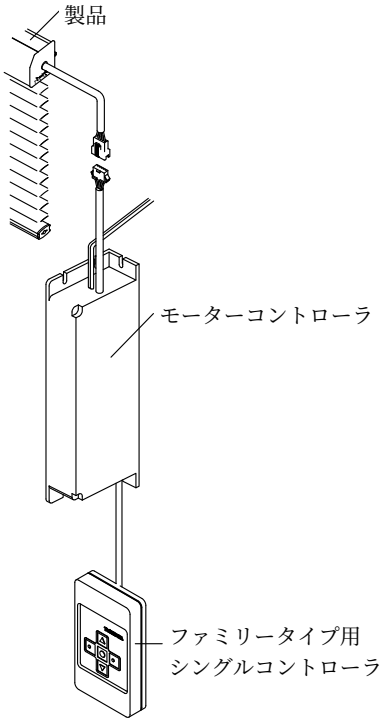
注）昇降動作中に開閉キーを押してもスラット開閉は行なわれません。一度STOPボタンを押し、製品を止めてから操作を行なってください。

～ファミリータイプ～

ファミリータイプ用シングルコントローラ



（外観）



注）ファブリック用は開閉キーがついていません。

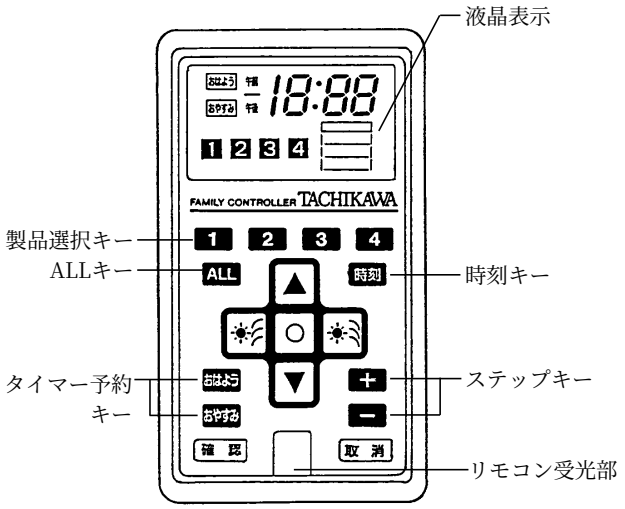
開閉キーは
押している
間のみ動作

操　作	製品の動き
①たたみ込みたい場合 ▲ を押す。	UP
②降ろしたい場合。 ▼ を押す。	DOWN
③UP、DOWNの途中で 止めたいとき。 ○ を押す。	
④スラットの回転 ☀ または ☀ を押す。	スラット 室外　室内

注）昇降動作中に開閉キーを押してもスラット開閉は行なわれません。一度STOPボタンを押し、製品を止めてから操作を行なってください。

ファミリーコントローラ

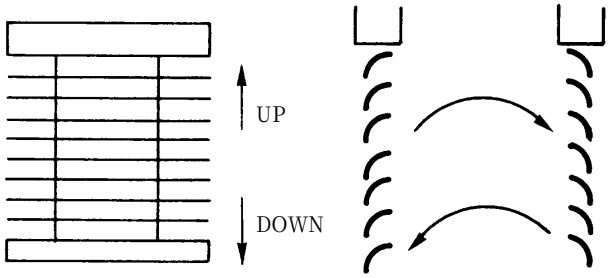
ファミリーコントローラは次の３つの機能があります。



※ファブリック用は、開閉キーがついていません。

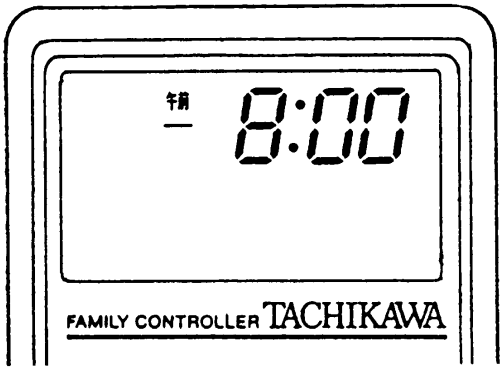
A　通常操作（選択・一斉）

○製品の昇降及びスラット回転。



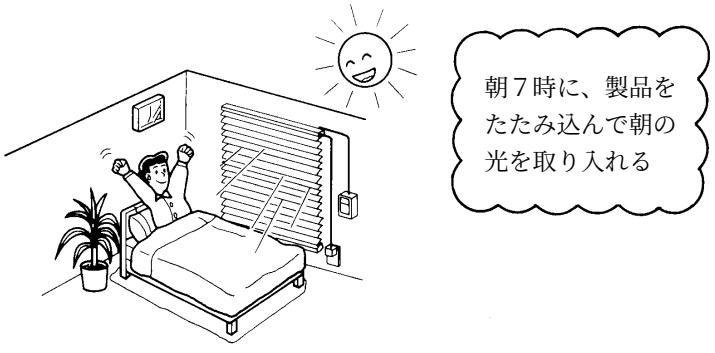
B　時計機能

○操作しない時は、液晶上に現在時刻表示。



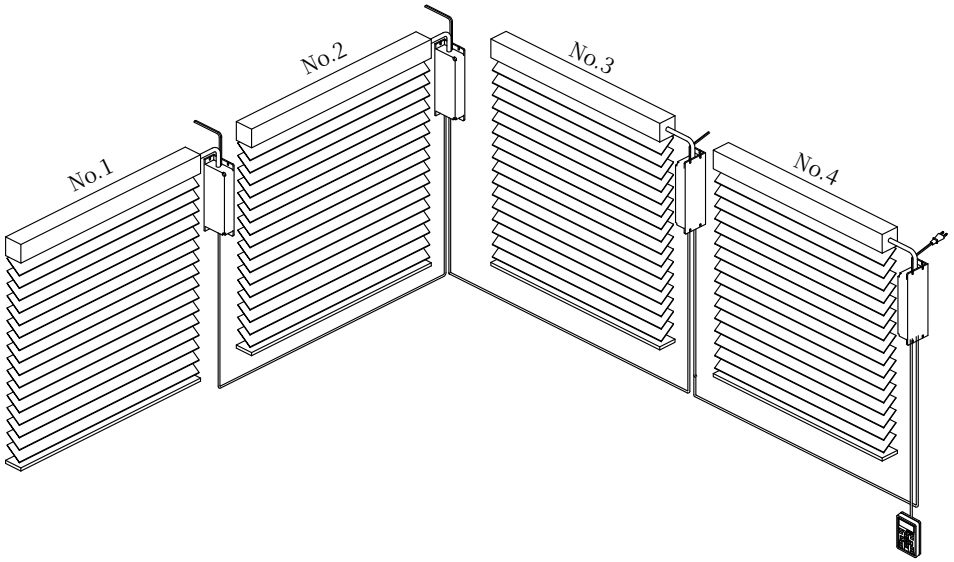
C　タイマー予約

○希望の時刻に製品を作動させることができます。



朝７時に、製品をたたみ込んで朝の光を取り入れる

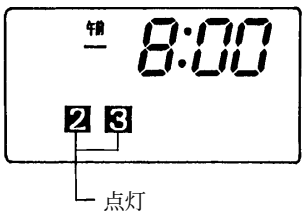
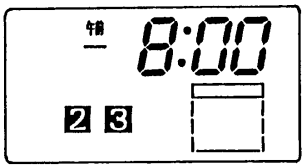
A 通 常 操 作



ファミリーコントローラ

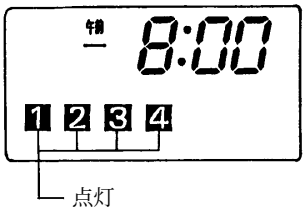
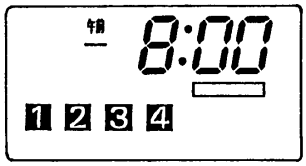
選択の場合

○例えば上図NO.２、NO.３の製品を
UPしたい時。

キー操作	液晶表示
①製品選択キー 2 3 を押す。	
② ▲ を押す。	 製品絵表示が 現われ、UP方向に 動作

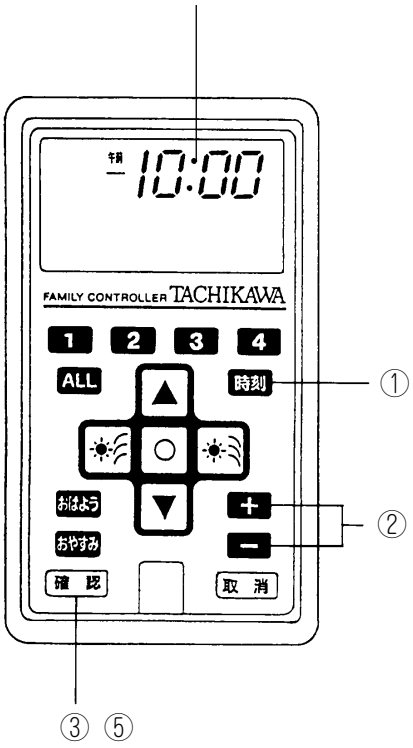
一斉の場合

○４台を一斉にDOWNしたい場合。

キー操作	液晶表示
① ALL キーを 押す。	
② ▼ を押す。	 製品絵表示が 現われ、DOWN方向に 動作

B 時 計 機 能

通常製品を操作しない場合は、液晶上には下図の様に現在時刻が表示されます。



（操作順序）

※ファブリック用は開閉キーがついていません。

（現在時刻合わせ）

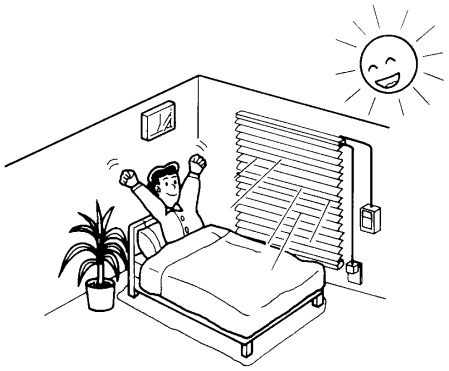
ファミリーコントローラ使用前に必ず行なってください。
例えば午前９：30に合わせる場合。

キー操作	液晶表示
電源投入時	全体点滅 0:00
① 時刻 を押す。	0:00 点滅
② ＋ － で時を合わせる。	9:00
③ 確 認 を押す。	9:00
④ ＋ － で分を合わせる。	9:30
⑤ 確 認 を押す。 ※押した瞬間から現在時刻が始まります。	9:30 点滅

注）停電時で電源が切れた場合、再度上記操作を行なってください。

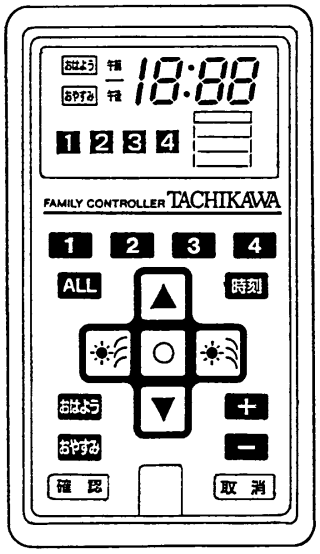
C タイマー予約

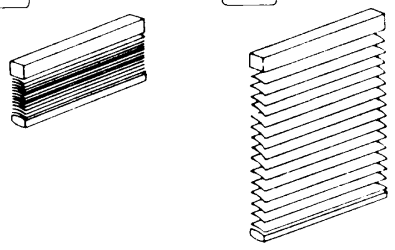
内蔵の時計機能により、希望の時刻に製品を作動させることができます。



朝７時に、製品をたたみ込んで朝の光を取り入れる

○予約は次の順序で行ないます。(予約は、１日に おはよう 、 おやすみ の２動作までOK)。



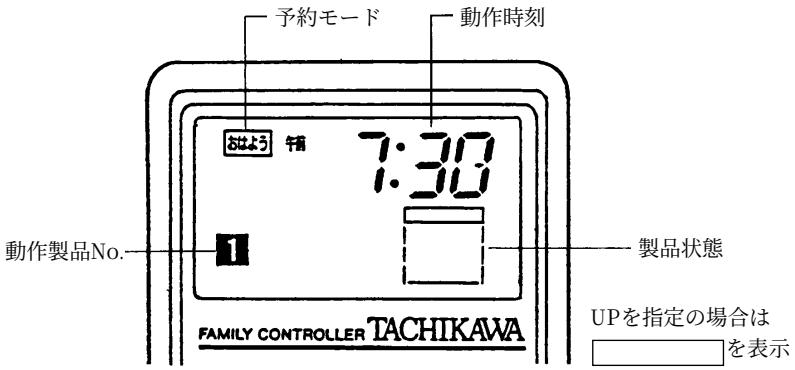
（内容）	（操作キー）
1 予約モードの選択	おはよう 、 おやすみ のいずれかを選択。
2 動作時刻の指定	時刻 、 ＋ ー キーで設定。
3 製品の指定	ALL 、 1 ～ 4 キーで設定。
4 UP、DOWNの指定	▲ ▼ 

※シルキーカーテンの場合 ▼ 時は室内側凹面の全閉状態となります。

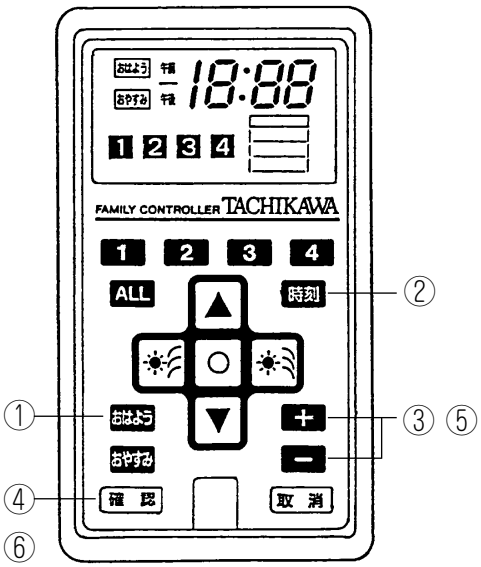
○予約例

午前７：30にNo.１の製品が降りるように予約。

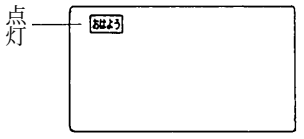
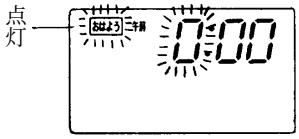
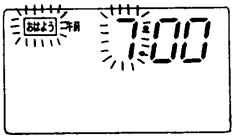
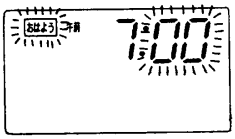
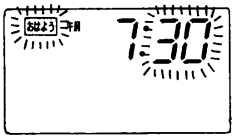
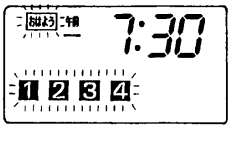
◎予約を行なうと下の内容が液晶に表示されます。



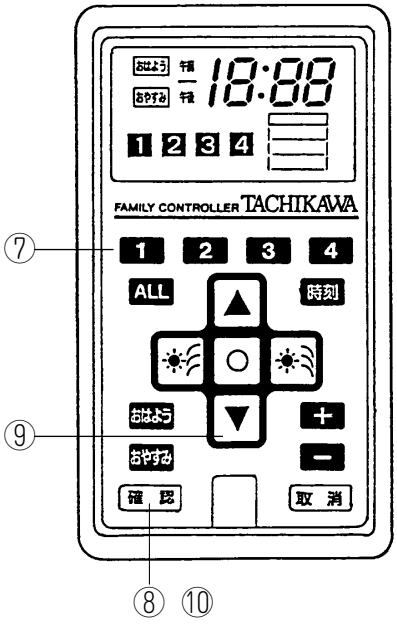
（入力順序）



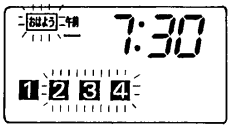
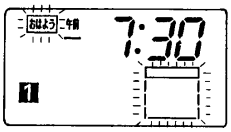
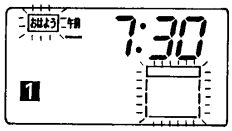
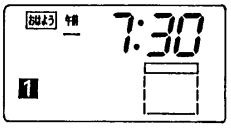
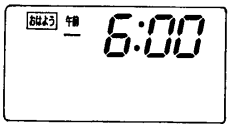
※ファブリック用は開閉キーがついていません。

キー操作	液晶表示
① おはよう を押す。	
② 時刻 を押す。	
③ ＋、－ で時を合わせる。	
④ 確認 を押す。	
⑤ ＋、－ で分を合わせる。	
⑥ 確認 を押す。	

（入力順序）



※ファブリック用は開閉キーがついていません。

キー操作	液晶表示
⑦選択キー [1] を押す。	
⑧ [確 認] を押す。	
⑨ [▼] を押す。	
⑩ [確 認] を押す。	
10秒後に現在時刻表示に戻ります	

入力を間違えた場合は [取消] を押すことにより一つ前の状態に戻ります。

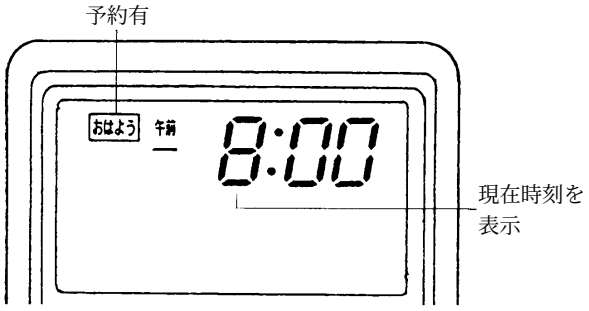
○途中で入力を中止したい時は、[おはよう] を再度押すと、現在時刻表示に戻ります。

（液晶表示）

解除

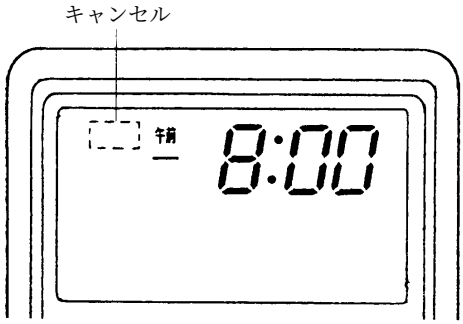
1

予約が入っている場合は右図の様に おはよう 、 おやすみ の表示があります。



2

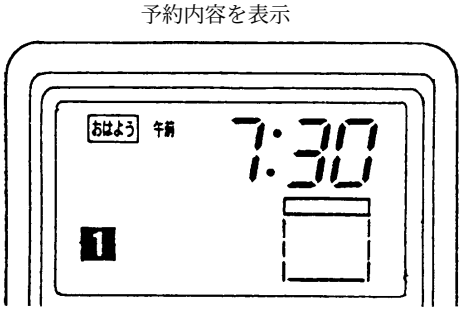
おはよう を押すと表示が消え予約がキャンセルされます。



確認

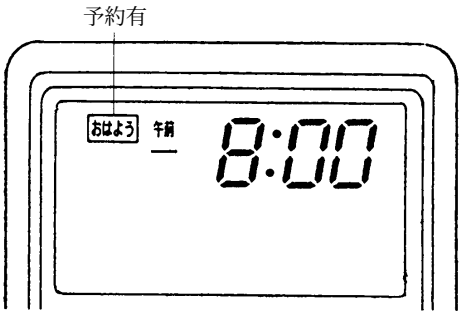
3

もう一度 おはよう を押すと、予約内容が10秒間表示され、内容確認ができます。



4

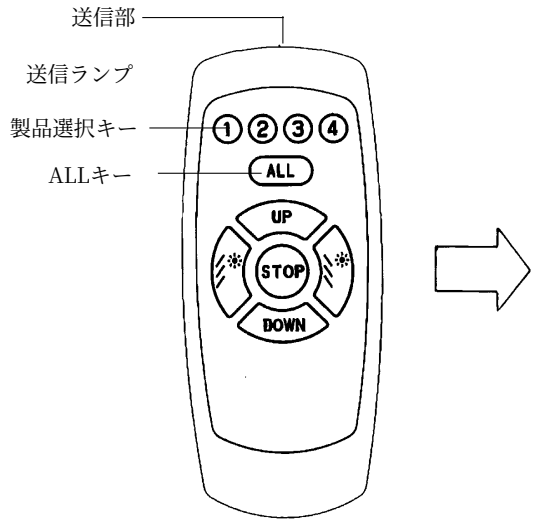
10秒経過すると、現在時刻の表示に戻ります。

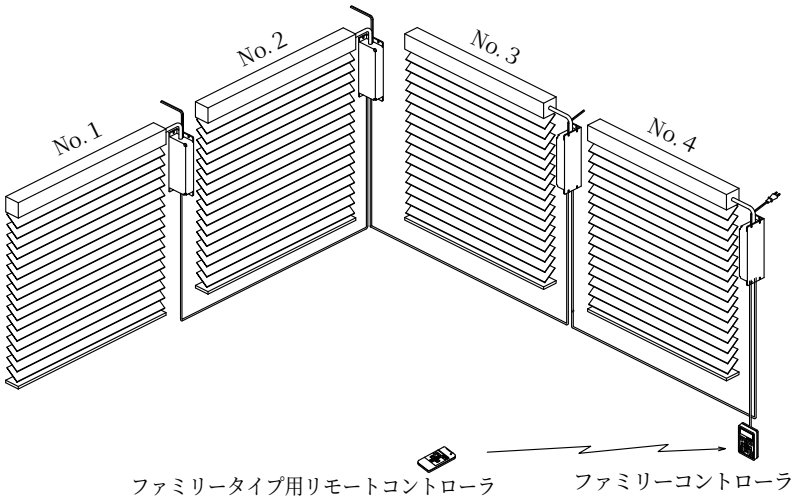


※液晶上に おはよう 及び おやすみ の表示がある場合は、毎日予約動作が行なわれます。

注）停電等で電源が切れた場合、予約が解除されます。時計合わせの後、再度タイマー予約を行なってください。

ファミリータイプ用リモートコントローラ





※送信距離は直線距離にして７ｍまでです。尚、角度により送信距離は短くなる場合がありますのでご注意ください。

注）ファブリック用は開閉キーがついていません。

選択の場合

○例えば右上図No.１の製品のみ、UPしたいとき

（順序）

① 製品選択キー [1] を押す。

② (UP) を押す。

一斉の場合

○右上図の全製品をDOWNしたいとき

（順序）

① (ALL) を押す。

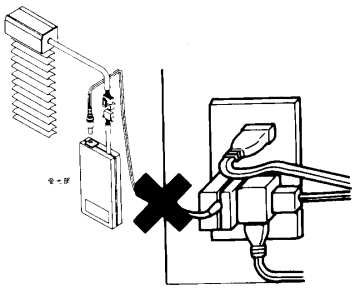
② (DOWN) を押す。

注）スラットの回転時を、同様に製品選択キーまたは(ALL)キーを押した後 、 キーを操作してください。

４．使用上の注意

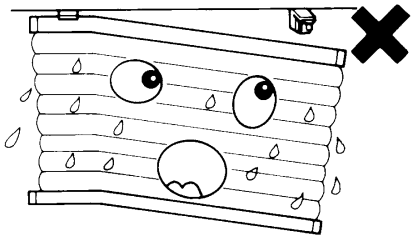
①電源

・一般家庭用電源（AC100V）のコンセントをご使用ください。
・タコ足配線は行なわないでください。
・旅行等で長期ご使用にならないときは、ACアダプターをはずしてください。



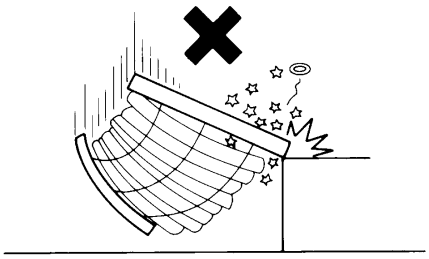
②製品本体の取付け

・取付けには、付属のブラケットを使用してください。
・浴室等水回り場所の取付けは行なわないでください。
故障、事故の原因となります。



③製品本体の取扱い

・製品に、直接衝撃を与えないでください。
故障、事故の原因となります。
・製品の上げ下げする範囲に、物を置かないでください。
・製品本体を移動するときは、電源をぬき、各コネクターをはずしてから行なってください。
・可動部への注油は、行なわないでください。
故障、事故の原因となります。



④コントローラの取扱い

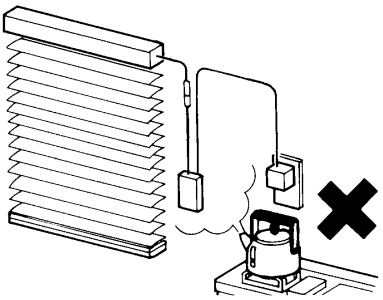
・リモートコントローラを使用する際、電池を誤使用すると破裂、液漏れの恐れがあります。下記にご注意ください。
〔＋、－を正しくセットしてください。〕
・ショートさせたり充電、加熱、分解、火の中に入れたりしないでください。
・強い光、直射日光があたると、誤動作、故障の原因になります。

⑤次のような使用場所に製品を設置しないでください。

・湿気の多い場所
・磁石など磁力線を発生するものの近く
・ほこりの多い場所

誤動作、故障の原因になります。

・周囲の環境等により誤動作が発生する場合があります。再度、操作をしますと正常に動きますのでご了承ください。



５．困ったときのチェック事項

製品が動かない場合、以下の項目をご確認ください。

○ACアダプターが、コンセントに差し込まれていますか。
○各コネクターが、はずれていませんか。
○各製品の信号線は、まちがいなく接続されていますか。
○製品No.の設定はしてありますか。
○製品が障害物に触れていませんか。
○リモートコントローラを使用の際、送信ランプは点滅していますか。

以上の項目をご確認して、製品が動かない場合には、お近くの弊社支店、営業所までご連絡を願います。

６．お手入れ方法

- 日頃のお手入れは、ハンディーモップ等でほこりを取り払ってください。
- スラットの汚れがひどいときは、次の要領で汚れをとってください。
  かたく絞った雑巾等で、スラットをはさみながら拭いてください。
  汚れがひどいときは、中性洗剤を洗剤の表示に従ってお使いいただき、その後必ず水ぶきしてください。
- 窓を開けての直射日光を生地に当てないでください。生地が極端に退色、変色する場合があります。

７．保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉
取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より１年間は無償修理をさせていただきます。

※次のような場合は保証期間内でも有料となります。
・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
・特殊環境（極度の湿気、薬品ガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。

修理をご依頼になる場合は、お買上げの販売店にお申しつけ下さい。
転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

立川ブラインド工業株式会社
本社：〒108-8334　東京都港区三田3丁目1番12号　TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

2006. 05
917960—0000

「リモートコントローラ」部品変更について

平成18年3月より、リモコン操作用の「リモートコントローラー」のデザインを変更しております。
握りやすい「丸みを帯びたデザイン」と、操作感のある「凸状のボタン操作」が特長です。

■操作方法について

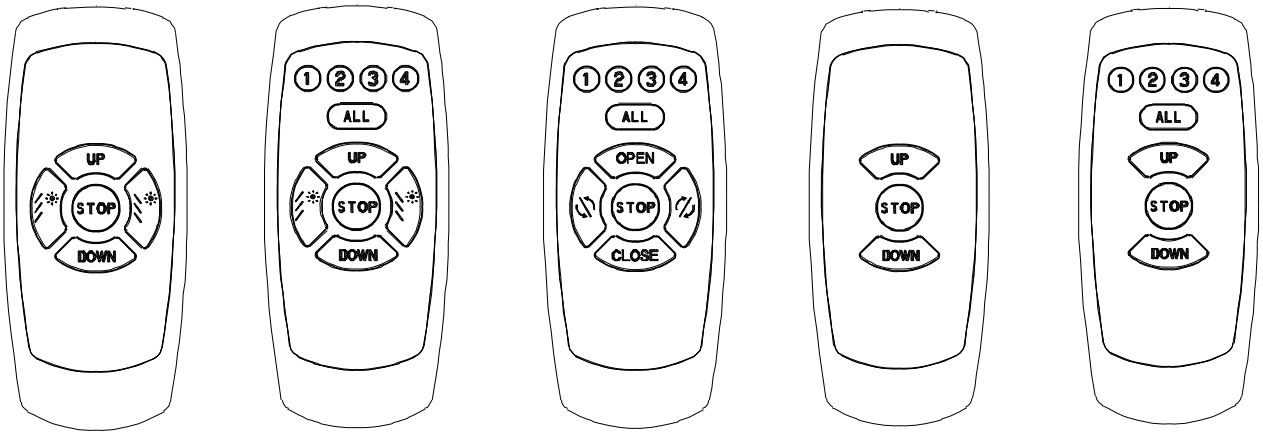
操作方法の変更はありません。操作方法・各種（一斉・選択）設定方法につきましては
各商品の取扱説明書を参照してください。
（　タコス製品：「タコス取扱説明書」、タコスⅡ製品：「各製品取扱説明書」に記載　）

※　タコス・タコスⅡ商品のリモコン共通化により
ゾーン・ブロック選択操作用ボタンを［ＡＢＣＤ］表示から［１　２　３　４］表示に変更しています。
読み替えて設定してください。（　例　）Ａ　→　１

■新デザイン「リモートコントローラ」

ヨコ型ブラインド用　　タテ型ブラインド用　　ファブリック商品用

シングルタイプ用　ファミリータイプ用　　シングルタイプ用　ファミリータイプ用



＜付属部品＞　リモコン ホルダー　1個
取付ビス（木部用）　2個